

平成24年度未来の京都創造研究事業 研究だより

第1号

本事業は、大学の若手研究者等と京都市の担当部署が協力しあって調査・研究を進めることで京都市の政策や事業に生かすことのできる、より実践的な研究成果の獲得を目指して、平成23年度から公益財団法人大学コンソーシアム京都と京都市が共同事業として行っているものです。

このたび本年度に取り組み6件のテーマが決定しましたので、それらの概要をお知らせします。

指定課題…京都市が指定するもの

自由課題…京都市の政策に関わるもの（指定課題以外）

継続課題…昨年度の研究成果を踏まえてより一層高いレベルの成果を目指して本年度も引き続き行うもの

指定課題1 「地蔵盆などの地域の伝統行事の現状と地域コミュニティ活性化への影響」

テーマ	「四地域を通して考える地蔵盆 ～世代間の伝承構造と地域コミュニティでの機能～」
研究代表者	真下 美弥子（京都精華大学人文学部・教授）
研究概要	立地条件・構成人員・運営形態が異なる4町内（上京区武者小路町、東山区西之町、中京区今新在家西町、左京区東大路高野第三住宅）の地蔵盆を対象に現地調査を行い、各町の行事の機能や有効性を明らかにするとともに、地蔵盆の継続・復活の意義や方法を検討します。また、地蔵盆と関わりの深い伝統行事である盆踊りについてもあわせて調査します。
7月実施内容	<ul style="list-style-type: none">・市の担当部署との研究内容に関する打ち合わせ・地蔵盆と盆踊りに関する事前調査および調査協力依頼

テーマ	「地蔵盆の運営実態と地域のレジリエンス向上に果たす役割に関する研究」
研究代表者	前田 昌弘（京都大学大学院工学研究科・研究員）
研究概要	三つの元学区（有隣学区、待賢学区、城巽学区）における地蔵盆を対象に現地調査やアンケートを通して、地蔵盆の意義の再評価とレジリエンス（あるシステムがその特徴を維持しつつも変化や不確実性に対応する能力）の向上に地蔵盆が果たす役割を明らかにします。
7月実施内容	<ul style="list-style-type: none">・市の担当部署との研究内容に関する打ち合わせ・各学区への調査協力依頼とアンケート用紙の配布

指定課題2 「京都地域の大学進学に修学旅行等が与える影響分析と学校行事を活用した魅力発信の方策」

テーマ	「修学旅行の訪問先が大学進学に与える影響の分析と大学の魅力発信の方策 ～修学旅行生および大学在校生に対するアンケート分析等を事例として～」
研究代表者	井上 学（平安女学院大学国際観光学部・准教授）
研究概要	京都における「大学」と「修学旅行」との関係性を、修学旅行生（中学生・高校生）および現在京都の大学に在籍する学生へのアンケート調査により明らかにします。また中小規模の大学が修学旅行生に対して大学の魅力を発信する方策も検討します。
7月実施内容	<ul style="list-style-type: none">・市の担当部署との研究内容に関する打ち合わせ・共同研究者等との打ち合わせ・アンケート内容精査

自由課題

テーマ	「二条駅周辺の再開発とまちづくり ～『立地創造』の視点から～」
研究代表者	加藤 政洋（立命館大学文学部・准教授）
研究概要	二条駅周辺における再開発の一連の動向を、既存の立地不利を克服して好条件へと転換する「立地創造」の過程として捉えることで、まちづくりの新たな可能性を探究します。
7月実施内容	<ul style="list-style-type: none">・市の担当部署との研究内容に関する打ち合わせ・共同研究者や研究協力者（二条駅かいわいまちづくり実行委員会など）との打ち合わせ・必要なデータや地図、空中写真、関連記事などの収集

テーマ	「京野菜（地場農産物）でつながる洛中洛外ネットワーク：地産地消の過去・現在・未来」
研究代表者	三俣 延子（同志社大学経済学部・助教）
研究概要	地産地消の観点から、京都市内を中心とした地場農産物（京野菜）の生産・流通・消費の歴史と、「振り売り」を中心とする現状分析を通して、かつての洛中洛外のように農産物によって結ばれる食のローカルなネットワークの再構築について検討します。
7月実施内容	<ul style="list-style-type: none">・市の担当部署との研究内容に関する打ち合わせ・京都市の農業についての基礎的な情報の収集・「振り売り」を中心とした先行研究の調査と、実際の「振り売り」農家への聞き取り調査

継続課題

テーマ	「家族介護者の仕事と介護が折り合う環境（ワーク・ケア・ライフ・バランス）の実現に向けた支援策の提供」
研究代表者	斎藤 真緒（立命館大学産業社会学部・准教授）
研究概要	家族介護者への支援として行政ができる企業支援と地域支援の二つを検討します。企業支援としては、退職せずに介護を続けられる具体的な手法をまとめるとともに、それらを効果的に情報発信する仕組みづくりを検討します。また、地域支援としては、介護者同士が悩みを話し合えるサロンのような場の新設や既存のものの改善について検討します。
7月実施内容	<ul style="list-style-type: none">・調査対象の企業や団体のリストアップ・「男性介護者を支援する会」（TOMO）や右京区と伏見区にある男性介護者支援の集いとの打ち合わせ

今後の調査・研究の進捗状況や本事業のイベント等を、この「たより」を通して皆さまにご案内してまいりますので、楽しみにお待ちください。

また、ご興味を持たれたりご意見等がある方は、以下の問い合わせ先までお気軽にお尋ねください。

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 高等教育研究推進事業部 シンクタンク事業
担当：水田（みづた）、鳴海（なるみ） E-mail：mirainokyo@consortium.or.jp
T e l : 075-708-5803 F a x : 075-353-9101